

都道府県番号	6
都道府県名	山形県

【  】

学校名及び規模

学校名	真室川町立釜淵小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	11
児童数	4	12	12	9	18	14	2	71	

研究の概要

(1) 研究主題

確かな学力の育成をめざして  
～少人数学級における個に応じた指導の充実～

(2) 研究主題設定の趣旨

児童の実態から  
昨年度からの研究を通し、少しずつ学習の意欲が向上し、基礎的な力がついてきているが、個人差が大きく、十分とは言えない実態である。  
本校の教育目標の具現化をめざして  
「心豊かに 学び確かに 身体すこやかに」という本校の教育目標の中の「学び確かに」を受け、一人一人が「基礎・基本」を確実に身につけられるようにしていきたい。  
学習指導要領・学力向上フロンティア事業を受けて  
学習指導要領では、「基礎・基本」を確実に身につけるとともに、「生きる力」を身につけることを目指している。また、同じねらいで指定された学力向上フロンティア事業を受け、本テーマを設定した。

研究の概要

(1) 研究推進体制の工夫

本校では、次のような研究の部会を設定して進めている。

研究	教科	国 語	算 数
授業改善		佐藤利、教頭	沼澤、高橋央
学力対策		佐藤千、三上	森、大友、森谷

は部長。校長は、必要に応じて入る。

## 部会の活動内容

教科部会...視点に沿った教材研究・指導法の研究を行う。

### 《国語》

- ・ 国語に関する教材研究・指導法の研究
- ・ 視写力調査，音読カード，詩の朗読等

### 《算数》

- ・ 算数に関する教材研究・指導法の研究
- ・ レディネステスト，100ます計算，指導モデルの検討等

研究部会...基礎的事項の定着を図り、授業の質を高めるための具体策を検討する。

### 《授業改善》

- ・ 授業研究会のあり方の検討
- ・ アンケート集計，学習のしつけの検討
- ・ 授業を通して，授業改善のための効果的な方法を明確にする，等

### 《学力対策》

- ・ ステップアップテスト，はげみ学習，家庭学習の充実に向けての内容の検討等

## (2) 研究の実際 (TT指導による個に応じた指導を中心に)

### 習熟を図るためのTT指導 (2年算数「新しい計算を考えよう」)

#### 《ねらい》

- ・ 少人数であっても個人差が大きい学級であるので，学習内容の習得と習熟を目指して，小単元のまとめの時間毎にTT指導の体制をとり，個に応じた指導を行っている。

#### 《実践の内容》

##### 単元の流れ

- ・ 本単元では，2～5の段のかけ算九九を扱った。この際，2と5の段の学習が終わった段階と，3と4の段の学習が終わった段階，さらに全体の習熟の学習に当たる時間をTT指導の体制で行った。

##### 本時の流れ

T1のかかわり	児童の学習活動	T2のかかわり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のねらいと活動内容の説明</li> <li>・ 問題の解けない子を中心に指導</li> <li>・ 2と5の段の九九暗唱のチェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題(8問)を解く。</li> <li>・ T2に答え合わせをしてもらう。(全部正解するまで)</li> <li>・ 全問正解の子は，T1に行き，九九暗唱の練習やチェックをしてもらう。</li> <li>・ 2と5の段両方の合格者は，パソコンで九九練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題の答え合わせ</li> <li>・ なかなか解けない子に，指導する。</li> </ul>

#### 《考察》

- ・ パソコンまでいった子が4名おり，それぞれ自分の記録(九九の速さ)を更新し，満足気に教室にもどってきた。自分のペースで進めたので，学習の量が十分保障されたようである。
- ・ 最も遅い子でも，自分の力で練習問題を全て解くことができた。

理解の程度に応じたT T指導（5年算数「面積の求め方を考えよう」）

《ねらい》

- ・ 自力解決が出来る子と教師の支援が必要な子に分かれて課題を解決することによって、それぞれの力を伸ばす。

《実践の内容》

（5年生の算数では、全てT T指導の体制をとっている。）

本時の流れ

T 1のかかわり	児童の学習活動	T 2のかかわり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時を振り返り，課題をつかませる。</li> <li>・ 「自力解決グループ」の指導・考え方のチェック</li> <li>・ 話し合いをさせる。</li> <li>・ 机間指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題をつかみ，ノートに書く。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     変わった形の平行四辺形の面積の求め方を考えよう。                 </div> </li> <li>・ 工夫して考える。</li> <li>・ 「自力解決」と「会議室」に分かれて学習する。</li> <li>・ 解決の方法を説明する。</li> <li>・ 高さが分かれば公式に当てはめられることをまとめる。</li> <li>・ 練習問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の観察，板書</li> <li>・ 「会議室グループ」の指導</li> <li>・ きりかえしの発問</li> <li>・ 発表の補助</li> <li>・ 机間指導</li> <li>・ 採点</li> </ul>

《考察》

- ・ 「ヒントがほしい人は会議室へ！」の言葉で，スムーズに分かれた。会議室グループは，図形の操作等のヒントをもらって，進んだ。
- ・ 会議室グループの子が，T 2に頼りきるのでなくヒントを聞いて自力解決しようとしていた。

（3）研究の成果と課題

《成果》

T T指導を効率的に用いることにより，自力で問題に向かったり，多くの問題を解いて定着を図ったりして力をつけることができた。また，一方では，理解が不十分な子にいていねいに指導する時間を確保することができて，学習内容の習得や習熟が図られた。

児童の学習についてのアンケートから

（3年以上，単位：％）

項目	アンケート時期	十分にあてはまる	どちらかというそう	どちらかというちがう	全くあてはまらない
算数の学習は，好きですか。	H15. 2月	36	36	21	7
	H16. 1月	41	41	16	2
計算が正しくはやくできるように努力していますか。	H15. 2月	32	45	13	10
	H16. 1月	45	41	14	0
定規やコンパスの使い方が正しくできますか。	H15. 2月	43	40	17	0
	H16. 1月	67	25	8	0

わずかではあるが数値が向上していることから，算数の学習に対して意欲的に取り組み，力をつけたことが読み取れる。

T T指導についての児童（5年生）の感想から

- ・ 「会議室」（主に分からない子の支援を担当する教師と共に学習する場）に行くと，分からないところがとても分かるのでいい。
- ・ とても楽しいし，聞きたいときに聞きにいける。

## 保護者のアンケートから

(単位：%)

項目	アンケート時期	十分に あてはまる	まずまず	もう少し努力 が必要	全くあては まらない
読み・書き・算数などの基礎的な学力は伸びている。	H14.12月	5.4	60.7	32.1	1.8
	H15.12月	32.5	57.5	10.0	0.0
学習に対する意欲や自分で考える力、発表力などは伸びている。	H14.12月	3.6	51.8	41.0	3.6
	H15.12月	32.5	42.5	25.0	0.0

どちらの項目とも今年度の結果が良くなっており、保護者にも研究の成果を感じ取ってもらえたと言える。

## 《課題》

理解や定着の遅い子のレベルアップと共に、応用力を持った子を育てるために、さらに、少人数学級のよさを生かした個に応じた適切な指導のあり方を追求する。国語科においても、個に応じたワークシートの工夫などが見られたが、さらに、国語科として育てたい力を明確にして個に応じた指導を実践する。少人数学級では、細かなところまで指導できる良い点があるが、教師に頼りきる子どもにしないように、今後も、教えることと考えさせることの内容を検討して指導に当たる必要がある。

## (4) 研究成果の普及の方策

公開研究会公開研究会

- ・ 日時 平成16年10月6日
- ・ 場所 本校
- ・ 対象 最上地区各小・中学校
- ・ 目的
  - ・ 授業及び研究の公開を通して、質の向上を図る。
  - ・ フロンティアスクールとしての研究の成果を地区内の小・中学校に普及する。

研究のまとめ・パンフレットの配付  
及位中学区での共同研究の推進

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  3学級以下  4～6学級  
 7～12学級  10～12学級  
 13～15学級  16学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無

## 【特色ある取組事例としての紹介したいポイント(都道府県教育委員会記入)】

本実践から共有したい点は、学習の目的に応じてT・T指導を使い分けている実践である。明確な意図に基づいてT・T指導を行うことで、より個に応じることが可能になり、学力の育成を図っている。